



※参考値出所：日本褥瘡学会 一般病院平均値（2013年度）

■ 患者個々の発生要因を見極めた褥瘡予防を実施

本指標は入院患者さんのうち入院中に発生したと推定される褥瘡（床ずれ）の推定発生率を示しております。データの集計方法は日本褥瘡学会の定める方法に順じて集計しており、荻窪病院に入院した時点で既に褥瘡を有していた患者さんでも新たに入院後に褥瘡を確認した場合は1件としています。

参考値と比較すると推定発生率は高い現状ですが、荻窪病院は急性期を担っており褥瘡が発生するリスクの高い方（高齢者等）が多く入院します。褥瘡を発生させない為には予防活動が重要な為、医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士で組織する「褥瘡対策委員会」や「栄養サポートチーム（NST）」と連携しながら患者さんへの回診を行うとともにケアにあたっています。

多職種の職員を対象に褥瘡に関する勉強会を開催し予防知識や技術向上に努めています。

